



全国小学生陸上交流大会に出場 菊池力斗くん

走り高跳びの練習。長い手足を使った大きな跳躍。

蘇陽南小6年・滝上



神奈川県で開催された、日清食品カップ第28回全国小学生陸上交流大会。全国の予選を勝ち抜いた小さなアスリートがしのぎを削ったこの大会の走り高跳びに、県代表として、菊池力斗くんが出場。1メートル30の自己ベストを記録し27位という結果を残しました。

菊池くんは陸上クラブ「T&F蘇陽」に所属。毎週水曜日に蘇陽南小学校グラウンドで15人の仲間と練習しています。

菊池くんは「大きな会場で参加者も多くて緊張しました。しかも大雨だったのでコンディションが悪く大変だった。その中で自己ベストだったのは嬉しかったです。」と大会の感想を話してくれました。

今後の目標は1メートル35を跳ぶことだと語っていた菊池くん。10月13日、県民総合運動公園陸上競技場で行われた熊日学童五輪で1メートル35を跳び、見事目標を達成し、優勝しました。

薪の炎の揺らめきの中で

～薪文楽～

10月13日、大川阿蘇神社の農村舞台で行われた「薪文楽」。20周年を迎えた今回も、県内外から170人が来場し、ひと味違う清和文楽を堪能しました。

午後6時、かがり火が点火された後、来場者はまず名物の十人重箱に詰められた地元料理弁当を満喫します。そして、清和中学校3年生による「所作おどり」で薪文楽が開演。清和文楽人形の「所作」を模した幽玄なおどりのあとは、会場を包んだ太夫の語りと三味線の音色。清和文楽保存会のみなさんによる「一谷嫩軍記（いちのたにふたばぐんき）」などが上演されました。

↑かがり火の中上演された「一谷嫩軍記」

←清和中3年生による「所作おどり」



第8回 10月7日 町民スポーツ大会 inそよ風パーク

10月7日、支部体協対抗の町民スポーツ大会が、そよ風パーク芝生広場で開催されました。

綱引きには、25の支部体協が参加。白熱した予選・決勝を経て、下矢部東部体協が2年連続で優勝しました。そして、9分を超える勝負となった俵さしは、今年も中島南部体協の中石広幸さんが勝利しました。また、今年は初めて玉入れ競技(AJTA)もあり、体協選りすぐりの玉入れ上手が、3.5メートルの高さのカゴをめがけて玉を投げ込んでいました。

今大会も、子どもからお年寄りまで楽しめるように、最初から最後まで、趣向を凝らした種目が続き、清々しい汗と笑顔の1日となりました。

総合成績	優勝	下矢部東部支部体協
	2位	浜町C支部体協
	3位	御岳支部体協
	躍進賞	通潤体協



①玉入れ。2分以内に100個の玉を入れます。②綱引き。白熱の闘いを制したのは…③今年も下矢部東部支部体協が綱引きを制しました。④支部体協リレー男子の部⑤総合成績で優勝したのは下矢部東部支部体協でした。⑥支部体協リレー女子の部。栄光のゴール。⑦「お姫様だっこ」夫婦運びリレー⑧チームジャンプで62回を跳んだ中島南部支部体協。⑨10大玉転がし。子どもから大人(?)まで⑩イス取りゲーム(子どもの部)⑪息を合わせて一歩ずつ。ムカデ競争。⑫タル転がし。経験がものを言う競技でした。



注目の俵さしを制したのは、今年も中石広幸さん(中島南部)でした。

